

Press Release

報道関係者各位

平成 23 年 12 月 14 日
株式会社ユビテック
(JASDAQ コード 6662)

ユビテックの技術を活かした復興支援 ～宮城県山元町に町内巡回バスの位置情報表示システム「ぐるりんマップ」を提供～

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック(東京都品川区、代表取締役社長:荻野司、以下「ユビテック」)は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県亶理郡山元町に対して、震災復興支援として、町内の無料巡回バス「ぐるりん号」にGPS等を搭載し、位置情報を連続的にインターネット上の地図に表示するシステム「ぐるりんマップ」を開発し、提供いたしました。

宮城県亶理郡山元町は東日本大震災の津波により、JR常磐線の線路が流されたまま復旧しておらず、町内を走行している2台の無料巡回バス「ぐるりん号」がJRに代わる町民の方々の移動手段となっています。

大震災により町内の道路も被害を受けており、悪路のためバスが予定時刻通りに運行する事が困難な状況になっていました。そこで、町民の方々のバスを待つ時間の負担軽減のため、バスの位置が即座にわかる「ぐるりんマップ」を開発し、従前山元町に寄贈した5台の「UGS(※)情報POD」に表示する事にいたしました。

(※UGS:ユビテック製省エネソリューション「Ubiteq Green Service」の略称)

これにより、例えば寒い中停留所でバスを待ち続けるといった不便さの解消の一助となることを期待しております。なお、本情報については、下記URLからご確認いただけます。

(URL: http://www.town.yamamoto.miyagi.jp/news/gururin_map.html)

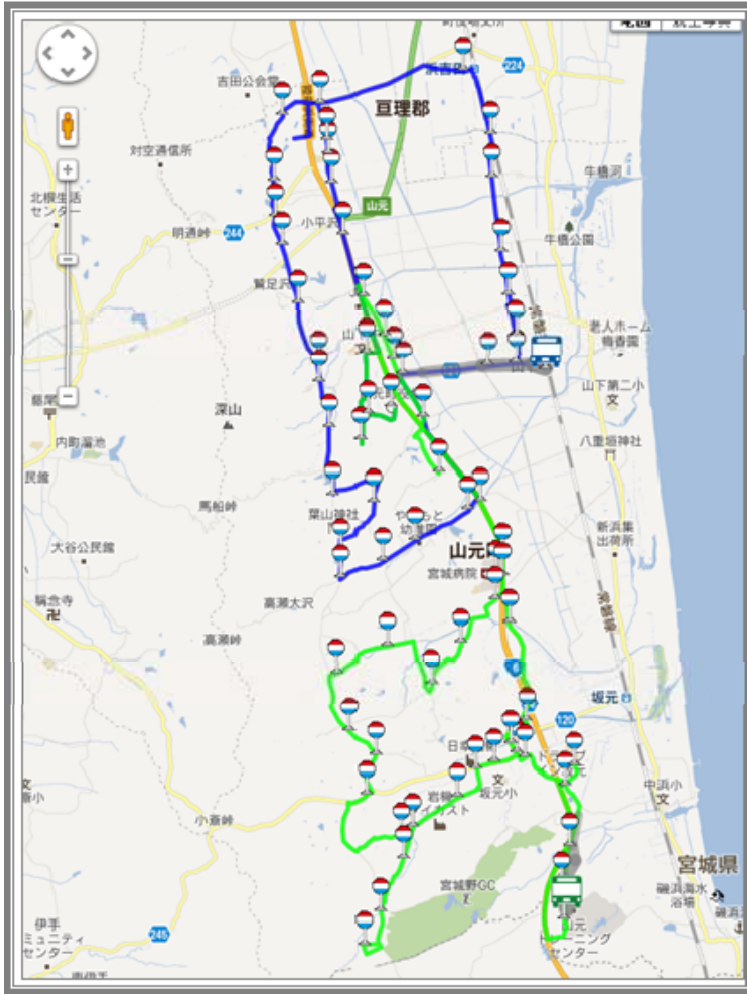
「ぐるりんマップ」はユビテックが蓄積してきた、下記の技術のすべてを融合させた事により開発に成功いたしました。

- ・ 車載端末開発技術
実績:カーシェアリング車載端末 / テレマティクス車載端末
- ・ モノづくり技術
実績:カーシェアリング車載端末 / テレマティクス車載端末 / ATM等内蔵センシングモジュール
- ・ 車両運行管理情報システム技術
実績:テレマティクスシステム
- ・ 端末とサーバ、ネットワークを融合し利活用するシステム技術
実績:UGS / テレマティクスシステム
- ・ マッシュアップGIS技術(センシング情報等、様々な情報を地図上にマッシュアップし表示する技術)
実績: Spatial Gateway GISサービス、Live-E!プロジェクト

■山元町副町長 平間英博様からのコメント

『このたびの「ぐるりんマップ」の開発は、ぐるりん号利用者の皆様の待ち時間軽減に有用なシステムだと考えております。皆様の移動手段の確保に尽力しつつ今後も山元町復興のために有効活用したいと思っております。』

ぐるりんマップ イメージ図




山下循環ルート


—— ルート


 バス現在位置

坂元循環ルート

—— ルート

 バス現在位置

 進行方向

 バス停

引き続きユビテックでは、長期的な支援活動の輪をさらに広げていくために、各種団体との連携も図りながら、当社が得意とするICTを活用した復興支援活動を進めていく予定です。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課
 電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561